

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(127)、(160)」

2. 日時：令和4年9月20日(月) 16時00分～18時05分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者(※：TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、野田上席安全審査官、谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、大井安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他9名※

電力中央研究所 1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造 (コメント回答)
- ・ 浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造 (補足説明資料)
- ・ 浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	時間ですけれども、中部電力から浜岡原子力発電所敷地の地質地質構造のコメント回答に関するヒアリングを行います。それでは説明につきまして、
0:00:11	中部電力よりお願いいたします。
0:00:17	中部電力浜野です。前回、8月31日に敷地の地質地質構造のコメント回答の資料についてヒアリングいただきました。
0:00:27	そこでの事実確認を踏まえて資料の方を修正、追加等をして参りましたのでご説明をさせていただきます。およそ20分程度の説明になりますようにお願いいたします。
0:00:43	中部電力の森本でございます。
0:00:45	お手元にお渡ししております資料右肩番号H I C 238 R 05、ものを使ってご説明させていただきます。こちらがコメント回答。
0:00:55	の本編資料となります。
0:00:58	変更点、
0:01:00	中心にご説明させていただきます。
0:01:03	まず資料冒頭、今回どういった追加調査、追加検討をやったのよう に、検討方針を見直したさ、どういった追加調査をやった等を説明した 資料になりますが7ページ。
0:01:17	をお願いします。
0:01:21	真ん中より少し上前回の会合におけるコメントを踏まえた検討方針の見 直しということで、前回いただいておりましたコメントを踏まえて緑で 書いております課題の1、それから青で書いております課題の2と、
0:01:35	この二つの課題を設定いたします。
0:01:39	課題があると我々考えまして、検討方針の見直しをしたというものでご ざいます。
0:01:46	前回のヒアリングではですねこちらの検討方針の見直しのところを少し 行間が抜けて、
0:01:52	いる、おりましたところがございましたので、課題の1課題に対してそ れぞれどういった見直しをしたのかというところを、
0:02:01	良寛を埋めるような形でしっかり文章を適正化させていただきました。
0:02:08	これが
0:02:09	このページの見直し内容でございます、
0:02:12	この課題の1課題に対しましてこの後、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:18	追加調査を、
0:02:19	やりましたその結果がこうでしたという内容を説明しておりますが、
0:02:23	11 ページ、
0:02:25	2、んなりますが、
0:02:30	今まであった課題の1 課題の2 というものに対してその課題がどのように解決したのかというところについてもそれぞれ、
0:02:40	両方についてしっかり行間を埋めるような形で文章を
0:02:44	補足させていただきました。
0:02:47	少し間が抜けておりますところをしっかりと文章として、充実させてきたというのが、前回からの変更点でございます。
0:02:57	少し資料先の方へ進みまして、
0:03:04	17 ページ、それから、
0:03:08	19 ページ、こちらが17 ページが、
0:03:12	笠名礫層の調査内容に、今回こういった内容が追加になったのか見直しになったのか。
0:03:20	19 ページが古谷泥層の追加と見直しの内容でございますが、
0:03:25	それでは最終形として、どのような形になっているのかというところがわかりにくいというご指摘をいただいておりますので、
0:03:35	その次のページそれぞれ17 ページが笠名礫層。
0:03:39	オオノ、追加調査ですね18 ページに、笠名礫層の調査結果としてはこれですと。
0:03:46	いう調査結果マトリックスで、
0:03:49	求めました。
0:03:51	古谷泥層については、20 ページの方に、最終形はこれですということ
0:03:57	で、 B F 4 地点品質点 B F 1 地点という形で、それぞれ対比層準について、データを横並びでお示ししております。
0:04:07	こういったマトリックスの中に文献における、それぞれの地層の技術対応も入れるようにという、
0:04:15	ご指摘もいただいておりますので、
0:04:17	18 ページ、19 ページ。
0:04:20	に関しては、ごめんなさい18 ページ20 ページに関しては、一番右の列に文献における記述ということで、それぞれの項目に対して文献ではこういうことが言われています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:32	いう形で、横に一律、ついていますという形で出しました。
0:04:42	こういった形の変更を行っております。
0:04:48	20 ページの次、21-1 と、20 ページの枝番にしておりますが、
0:04:56	スライドタイトルでいいます⑤泥層と局所的な堆積物として、敷地の提訴との比較結果についての、前回こういった比較表をお示しできておりませんでした、
0:05:08	こちらについても、
0:05:11	調査結果を横並びで、PMの時点の泥層と横並びで示しております。
0:05:20	これは調査結果のマトリックスを示した部分の変更点になります。
0:05:31	続きまして、その次のページ、
0:05:34	21-2 というページに、
0:05:39	なりますが、
0:05:40	こちら谷さんからのご指摘をいただいておりますが、どの調査地点でこういった調査をやっているのかと。
0:05:48	いうところと、あと、一つの調査地点においても露頭だとか、ボーリングが複数ある地点もございますので、
0:05:57	その地点のこういった調査手法で採取した試料で分析を行っているのかというのを、
0:06:03	お1人表で、
0:06:05	まとめたものでございます。
0:06:08	B F 4 地点左側 B F 4 地点、それから古谷泥層の比木 2、B F 1 笠名礫層の笠名 1。
0:06:16	敷地までの 3 地点という形で並べておまして、それぞれこういった露頭ボーリングから試料を採取したデータを示しているのかと。
0:06:26	いうところを星取表で示させていただきました。
0:06:31	で、
0:06:32	その内訳として、22 ページ、23 ページになりますが、
0:06:39	それぞれ調査結果が、この
0:06:42	資料の中のどこに結果として掲載されているのかと。
0:06:48	いうのを、
0:06:49	お示ししたものが 22 ページ 23 ページでございます。
0:06:54	またデータのありなし、それから掲載場所というのを内訳を今回示させて、
0:07:01	いただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:05	冒頭の資料に関する大きい変更点としては以上になります。
0:07:12	続いての変更追加箇所になりますが、
0:07:18	B F 4 地点の周りの泥層の調査範囲、こういったところで、泥層があるかないかというのを確認しているのかというご指摘を前回のヒアリングでいただきましたので、
0:07:31	35 ページをお願いします。
0:07:37	あ、失礼しました 42 ページですね。
0:07:46	場所としては前のページに、が 41 ページになりますけれども、B F 4 地点というところで、
0:07:55	1 級断層と上載層の関係を見てますよという、
0:08:00	もう説明したスライドの次になりますが、その B F 4 地点の周りはどうなっているのかと。
0:08:06	いう、を説明するスライドとして、
0:08:10	42 ページ、43 ページの 2 枚のスライドを追加。
0:08:16	しております。
0:08:17	まず 42 ページの内容ですけれども、B F 4 地点付近の地表の踏査状況のルートマップで、
0:08:26	表せたもので、
0:08:28	ございます。
0:08:30	この図、水色でハッチングしておりますのが、標高 45 メートル以上と いうことで、
0:08:37	鍛冶学校の泥層ビルの中の 0 層と、概ね同標高以上の
0:08:43	部分になります。
0:08:44	そういった範囲で緑だとか、茶色、こういったところで、
0:08:50	地表踏査を行っていて、その部分の地質を確認していると。
0:08:56	いうものでございます。
0:08:59	次の 43 ページは、B F 4 地点周りを
0:09:04	拡大した図になっておりまして、
0:09:10	この日発点赤でハッチングした範囲に、泥層が分布していると我々は考 えております。
0:09:16	その周りの調査状況を拡大してお示ししております。
0:09:20	この 2 枚のスライドを追加いたしました。
0:09:29	次の変更箇所ですけれども、
0:09:33	75 ページを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:36	お願いします。
0:09:43	B F 4 地点の泥層の調査結果を、分析結果を示した
0:09:51	後のスライドになりますが、
0:09:53	今回前回の会合でいただいております、再堆積に関する検討を、
0:10:00	行っている部分になります前回のヒアリングではどうして相良層だけを分析対象としていいのかと。
0:10:09	いうところが少し説明として不足しておりましたので今回その部分を 75 ページ、1 枚使って、
0:10:17	補足して参りました。
0:10:25	タイトルとしては、変成岩火成岩それからざくろ石放射虫化石が、
0:10:32	海、海成が流入しない環境において、
0:10:35	購入した可能性について検討しますというスライドにしております。
0:10:41	箱書きの 2 番目。
0:10:44	二つ目の箱書きの、二つ目のポツになりますけれども、
0:10:49	可能性としては、上から、そういった指標が転がり込んできた、二次堆積が考えられますので、公表空港部に位置する地層を、
0:11:01	検討対象としております。
0:11:04	どういった地層があるのかというと相良層古谷泥層京松原砂層牧ノ原礫層笠名礫層。
0:11:11	それから不精査という地層がございますけれども、
0:11:15	そちらの京松原砂層牧ノ原礫層笠名礫層それから布施里。
0:11:20	というのは、
0:11:21	病死が砂層を、になりますので、両者が大きいということで、
0:11:28	泥層の供給元としては考えられませんので、
0:11:31	残ったものが古谷泥層と、相良層になるというものでございます。
0:11:37	その他の古谷泥層というのは、全体としては、花粉が多産するという傾向がございます、全体的な部分があるということでないという層準が一番、最下部にございますけれどもその部分だけ選択的に、
0:11:51	削剥されて、二次堆積するということはなかなか考えにくいので、
0:11:56	同じような粒径を持っているうちに堆積するというので、古谷泥層、相良層を対象に分析を行ったと。
0:12:05	いうものでございます。
0:12:07	その次のスライド、これ前回からお示しているものでございますが、76 ページに、相良層の分析結果を示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:15	相良層に、変成岩、火成岩するがざくろ石、放散虫化石というのが認められないのでということで、二次堆積の可能性ではないと。
0:12:25	いう評価をしております。その旨不足させていただきました。
0:12:33	はい。次の
0:12:36	変更箇所になります。で、
0:12:40	ページとしましては 86 ページ。
0:12:43	をお願いします。
0:12:49	海水準変動曲線を使った説明でございましてそこに
0:12:55	紫色の線、それから赤の点線で示しておりますのが、営業松原砂層の、
0:13:01	非均一性の今日松原砂層の流域家庭、
0:13:06	でございます。ここから隆起速度を求めて、検討を行っているというものでございますが、なぜ、日野京松原の上面高度でいいのかと。
0:13:17	いうご指摘をいただいております。
0:13:20	ので 87 ページに、1 枚スライドを、
0:13:25	入れております。もともと入れておりましたが、
0:13:29	記載事項を充実、
0:13:31	させました。
0:13:34	内容としては京松原砂層上部が汀線付近の堆積物とされていると。
0:13:40	ということと、
0:13:42	2 ポツ目になりますけれども、京松原砂層の入っている、牧ノ原段丘堆積物というのは、福本隆起速度が大きいと、ということが知られておりますので、
0:13:54	その範囲の、
0:13:57	一番敷地に近い品 1 点で、検討を行っている。
0:14:01	いうものでございます。それに当たりますは、品位地点の周辺において、同じようなコードに
0:14:09	京松葉砂層が分布していることを確認していると、いうものでございますので、その点を補足させていただきました。
0:14:17	それから
0:14:19	文献で言われている、隆起速度等といった関係なのかというご指摘もいただいておりますので、次の 88 ページには、前回お出ししております。
0:14:29	前回会合での資料の再掲に近いものになりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:34	御前崎地域における隆起速度、
0:14:40	文献で言われている隆起速度をお示ししております。
0:14:44	品質点ですと大体 1000 年当たり 0.8 メートル程度の隆起速度になりますが、
0:14:51	敷地の隆起速度、
0:14:55	傾向で言いますと、
0:14:57	南の方が隆起速度がすぐ北のほうが早いというトレンドの中でその一つをとらえていると、いうものでございます。
0:15:05	こういったスライドを追加させていただきました。
0:15:16	はい。最後の変更点になりますが、
0:15:22	111 ページをお願いします。
0:15:33	古谷泥層についての調査項目、調査地点と調査項目を説明したスライドになりますが、
0:15:41	この調査項目として、何に重きを置いて調査をしているのか対比をしているのかと。
0:15:46	いうところが、説明として不足しておりましたので、その点を補足。
0:15:54	しております。
0:15:56	右の箱書き。
0:15:59	2 ポツ目になりますけれども、
0:16:03	B F 発の泥層と、各地での古谷泥層との対比にあたりましては、その対比先の比木地点 B F 1 点。
0:16:12	というのが異なるタニ地形に位置しますので、
0:16:15	古谷泥層において、比較的多くの報告が確認されましてタニタニ筋を越えた地層の対比が可能と考えられる。
0:16:25	花粉分析結果にまずは着目して、比較を行ったと。
0:16:30	いうものでございます。
0:16:34	広域的な対比にあたっては、
0:16:37	火山灰分析というのが、メジャーなやり方ではございますけれども、古谷泥層においては、
0:16:44	そういった報告というのがなくて、火山灰についての報告がなくて、我々の調査でも、
0:16:49	火山灰が検出されるという考えられておりませんので、今回まずは花粉石に着目して、対比層状の特定を行ったと。
0:16:59	いうものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:00	後段出てきますまとめの文章結論の部分についても、こういったどこにまずは着目して対比を行っているのかというところが読めるように修正を行っております。
0:17:16	はい。前回資料からの
0:17:20	変更点、本件に関しては以上でございまして、補足説明資料につきましては、
0:17:29	42 ページ。
0:17:32	からの内容になりますが先ほどご説明した、
0:17:36	こういった範囲で、泥層の分布範囲を確認しております。
0:17:41	いう内容の、より拡大した図面をお付けしております。スライドを、
0:17:47	4 枚、
0:17:49	ほど追加しております。補足説明書についてはこの追加のみの変更でございまして。
0:17:55	本日の資料の説明は以上です。
0:18:01	規制庁のニシキです。
0:18:03	説明ありがとうございます。それでは規制庁側からですね、確認の方を少しさせていただきたいと思っております。
0:18:15	まず私の方からニシキの方からですがけれども、
0:18:20	えっとですね今回 40、本編の 42 ページのところ等でですね、BF4 地点周辺の
0:18:28	実質調査の状況ということで、スライドの後ろの方追加いただきましたけれども、
0:18:34	この町さあ、
0:18:36	はですね基本その間に箱書きの 2 ポツ目のところで、泥層と概ね同標高のものにおいてはってということで、
0:18:45	何かその 45 メートル以上の範囲。
0:18:48	に今かなり絞っ。
0:18:50	たようなことを、
0:18:53	で調査されているんですけども、
0:18:56	トップ。
0:18:59	なぜこの泥層と同じ標高。
0:19:01	で調べると、要は古谷泥層って、何か本社の説明ですと何かあれですよ、ね、基盤の凹凸みたいなのところに、のタニみたいのがたまってる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:11	ていうものだと思うので、特段、この高標高以上にだけ調べなくてもいいような気がしたんですけども、この辺り、どう整理されているのかちょっと確認したいんですけども。
0:19:28	はい。中部電力の森元でございます。まず事実としては、
0:19:35	42 ページにお示ししております。はい。敷地の周りにおいてですね幅広に露頭の調査というのは行って、
0:19:44	おります。今回 45 メートル以上の範囲ということで、ハッチングさせていただきましたけれども、こういうこの範囲だけに限って調査を
0:19:55	限定的にやってるわけではなくてですね当然、
0:19:59	水木さんおっしゃるように広範囲で調査を行っております。
0:20:02	ちょっと記載として抜けておりますけれども、B F 4 地点の泥層等、大体同層準といいますか、同じ時期にたまった地層があるとすればこの
0:20:14	青い範囲という、いう訳になるんですけどその範囲の調査状況は、こういったものですよというので今回図としてお示しさせていただきました。
0:20:25	特にこの範囲が限定的に、調べているというものではない。
0:20:29	今でございます。
0:20:33	規制庁ニシキですということで例えば 42 ページの地図でいくと、
0:20:39	右の方東の方で 45 メートル低いところにも相良層、
0:20:44	の分布のルートマップがあったりするのでこういったように基本的に歩いて確認しているということでちょっと見やすい、そのまま、一つの間、目安の観点というところで標高 45 メートル以上については、
0:20:58	不議論であるというような説明かというふうに理解しました。ちなみにこれって、
0:21:06	あれですよ。基本は相良層をターゲットとした地質踏査をされていたもの。
0:21:13	であるという認識でよろしいですかね。
0:21:19	はい森本です。西さんおっしゃる通りでして
0:21:25	広く地図状況を把握するという意味では満遍なくやってはいるものの、やはり第 3 基層の、特に断層の有無とかですねそういった観点、
0:21:35	メイン。
0:21:38	にも
0:21:39	着目した調査になりますので、どちらかというと、3 期層のローガン状況だとか、断層があるないっていうところに、
0:21:49	重点を置いているということが事実でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:54	規制庁西です。ありがとうございます。ということは、地質調査で積極的に何て言いますか例えば、ローガンさ、採泥5層が露出路盤してい
0:22:07	で、そのようにちょっとかぶりがあってそこに提出堆積物があるかもしれないところがあったとしてもそれは積極的に範囲で確認しているというものではない。
0:22:17	結果だという理解でよろしいですかねそれともそこも、
0:22:22	一番なのかトップまで、はい、剥ぎ取った上で見みたってというような、
0:22:28	ものなのかちょっとそのあたりちょっと事実確認するとさせていただきたいんですけども。
0:22:33	要は上までちゃんと見てますか見てませんかかっていう、見れてますか見えてませんかを少しちょっと。
0:22:39	確認しておきたいんですが。
0:22:41	はい森本ですおっしゃってるのは例えば崖錐の状況だとか、そういったところまでしっかり見てみるかっていうそうですね、山根様の、いわゆるコンタクトどうなってるんですかみたいな、トップのですね、そういったところまで、
0:22:56	どういったものが載ってるんですかまでは確認できてるのかももう老眼のなんだ相良層の露頭でその上は、どこまで探せるかわかりませんっていう調査状況なのかっていうそういう意図です。
0:23:09	はい森本です。こちらにそこまでの堆積物ですがバンジャク堆積物の状況まで、
0:23:19	しっかりというところに関しては、
0:23:22	まだ少し調査の余地はあるかなと思っております。
0:23:31	規制庁ニシキです。わかりました。確認できましたありがとうございます。
0:23:39	規制庁谷ですけど。関連で確認なんですけどこれってこの調査自体はいつぐらいの踏査のマップなんですか。
0:23:54	はい。中部電力の森元です。複数の年代も脳の合わさった図にはなるんですけど、概ね
0:24:04	3号の建設、
0:24:05	から4号の建設にかけてのものから、現在に至るまでのものがございますので、
0:24:13	大体3、30年少々前、
0:24:17	ぐらいからのデータの積み上げになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:23	荒谷です。からの今ぐらいまでのデータがあるって言ってますけど、基本は宝ですか。
0:24:31	3号4号ぐらいの辺りのデータを基にして、場合によってはちょっと追加してるっていうような、
0:24:39	ものってことでいいんですか。ほとんどはもう、
0:24:42	結構前のデータなん。
0:24:45	ですか。
0:24:46	その追加がどれぐらいあるのかっていうのがイメージ湧かないんですけど。
0:24:55	中部電力オオミナミですと主体となってるのはやっぱり34号の時代のものが多くて、それ以外のところですよ例えばなんかこう、道路上に今なってるもののちょっと下の絵には入ってないけど道路上でこう広がってるものとかそういったものは、
0:25:11	道路ができるたんびに調査をしたりという形で追加してきてございますので待ちたい主体としては34号、
0:25:18	どこがというイメージはしてないけれどもそれなりには増えてはいるという状況です。
0:25:29	はい。ありがとうございます。あとはですねこれ。
0:25:34	ちょっとあんまり本質的じゃないかもしれないですけどこれって、
0:25:37	その踏査した地質が入ってるんだけど、何か御社の地質図見てたら、ここにあるような相良層群もあれば、
0:25:48	笠名笠名の礫層も、
0:25:50	入ってるんですけどこの
0:25:52	越冬ふう精査でしたっけ。
0:25:56	風生砂層みたいなのも地質図としては表記されてるんですけど、その辺ってこのルートマップから、
0:26:03	こう出てくるデータではないんですかねその地質層の関係はちょっとわからずわからなくて、確認してるんですけど。
0:26:11	風生さんがこのルートマップに入っていないけれども地質で分かれてるっていうのは、それどういう関係なのかなっていうのを教えてください。
0:26:24	中部電力南出瀬戸風生さんにつきましても当然地質の方にも大きく記載されておりまして、この辺り逆に言うと非常に不正性、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:35	厚く、いろんなところで堆積しているような地質がございますで、それを書くとはほとんどがもう不精査になっていくということがあってこのルートマップ上では、それを外して湧いて地質上では、
0:26:46	確認したところとしてざっと書いているというような形ですね、それを書くとは余りにも多くなってしまふのでわかりやすくという形で今こちらの方は、
0:26:55	浅原相馬歴史堆積物堆積物のものを抜き出して書いているような状況になってございます。
0:27:06	規制庁谷ですはいえっと、これ、これ以外に、じゃあ何かのルートマップ的なデータがあるってことなんですかその府地質図を書くときには、
0:27:17	これ全部の前、全部が全部のデータじゃなくて、
0:27:20	ルートマップもって御社は、いろいろ作ってるんだけどその一部が、この42ページっていう説明で、
0:27:29	ということですか今の説明は。
0:27:50	中部の中田でございます。先ほども三輪委員が言いましたようにこの辺りって風車が非常にやっぱり多いもんですから、そこまで書いたルートマップってのは特になくてですね実際窒素倉庫からどういうふうに変えたかって言いますと、
0:28:04	相良さん分布が上がってます。そっから地形的にここ以上高いところは下がるとか分布してるだろうというようなことを送付しながら、これ低いところは、風車に呼ばれているというような解釈で書いております。
0:28:21	荒谷です。事実関係はわかりました地質図書くにあたってはですね地形的なところで、
0:28:30	その不精査っていうのは決めているんだということかと思えます事実関係は、
0:28:37	わかりました。
0:29:20	中部電力の森本です先ほどの話ですね地質ズーつくるにあたって、どう、どういった
0:29:28	プロセスで、
0:29:31	書いているからこのルートマップと地質の関係についてはちょっと補足を
0:29:36	注記させていただきたいと思えます。
0:29:40	規制庁谷ですちょっと事実関係確認したかっただけなので別に資料貸ししなくていいですよ。状況はわかりました。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:52	規制庁ニシキです。
0:29:53	ちょっと磯野関連者 43 ページの方で、BF4、
0:29:59	の地点の辺りだけ
0:30:02	ピンクで、
0:30:04	わーっと広く書いてるんですけども、これって何の井戸ですかこの範囲になりますというイメージですか何か。
0:30:13	ちょっとここだけこれなんかルートマップなかなかちょっとこの色の凡例がちょっとわかんなかったのでもっとこの、
0:30:20	この範囲ということなんですよね何かこれ、ルートマップの差でゴソウとか礫層とか泥層のところになにかさらにかぶさって載ってるんで何何かなと思ったんですけどこれあと、
0:30:31	あれですね 2 ポツ目の 50×工事の範囲というイメージですか。
0:30:38	中部電力、森本です。凡例のところに記載はないんですけども、図中に矢印引っ張ってですねこの範囲、
0:30:47	に泥層が分布していると、我々が考えている範囲を図示
0:30:53	しております。
0:30:55	ただ、赤字で書いている部分でございましてそこが今西さんおっしゃったように、50メートル四方程度の分布が、
0:31:03	今は確認できていると、いうものでございます。
0:31:08	はい赤で線引っ張ってるところだなと思うんですなんかちょっとこれ、見せ方の問題だと思うんでちょっと何か、
0:31:15	ルートマップなんか何なのかちょっとわかんない範囲、範囲なんかちょっと何か工夫された方が、一瞬私最初見たときにグッと誤解をしてしまったのって。
0:31:25	これは栗城増田というところではい。
0:31:32	8 規制庁タニそのおんなじところで、これってあれですよただ単に
0:31:37	谷埋めがこういうふうに
0:31:39	連続しているんじゃないかとかそういう思想とかを全然入れてなくて、ただ単に試掘トレンチとか連絡トレンチとかで、ある範囲を、
0:31:51	それから、Low等でここはないよっていうところまでを、
0:31:57	想定してただ、ただ単に分布で、
0:32:02	0に近いようなものを作ってるっていうことで、
0:32:05	いいですかね。何かこう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:08	タニ梅田からこんな方向にあるんじゃないのかとかそういうことは全然、
0:32:13	考えてはないってことですよねこの絵は。
0:32:17	はい。森元です。伊井さんおっしゃる通りでして、特に付からこの範囲にあるだろうとかいうそういうものはございませんで、ちょっとレンチそれからボーリングで確認した。
0:32:26	泥層を確認しているところと、やっぱり確認できていないところがございいますので、その範囲を
0:32:35	事実として囲ったものでございます。
0:32:39	はいタニです確認できました。
0:33:19	タニですけど、
0:33:21	ちょっと11ページで、
0:33:23	今回大分
0:33:26	もともとと言いたかったことはこういうことですよってということかと思うんですけどあのさ、修文んな、説明を直してもらってるんですけども。
0:33:36	11ページのね最初の矢羽根の、
0:33:41	2、6行目の中で、5行目から6行目。
0:33:47	B F 4 近傍の笠名礫層。
0:33:52	礫層相当層と泥層は数百メートルの距離に位置しており、この狭い域での、
0:33:59	堆積環境の違いを、
0:34:01	大きな地形的特徴が、
0:34:04	の違いがない中では、
0:34:06	堆積時代の違いを表しているっていうこの文章がちょっといまいち、
0:34:11	よく
0:34:12	何を言いたいのかっていうのがよくわからなくて、この大きな地形的特徴の違いのない中、
0:34:21	ていうのが、何かこう、どうどういう意味で使ってるのか。
0:34:26	ていうのを、
0:34:27	もうちょっとかみ砕いて教えてもらっていいですか。
0:34:40	中部電力浜野でございます。
0:34:42	ちょっと日本語が上手いかどうかという問題があるんですが、
0:34:48	もともと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:51	だったかな。
0:34:55	すなわちってどこだったっけ。
0:34:57	これだ。
0:34:58	もともと 13 ページのところで、前回はニシキさんが、
0:35:02	お金を話し合った。
0:35:04	右の黄色い真ん中の箱に、
0:35:09	笠名礫層と泥層の堆積環境の違いを明確にか確認できたと。
0:35:15	いうところで堆積環境の違いが、すなわち堆積年代だによっていうところ って、
0:35:22	論理が飛躍してるんじゃないですかと。
0:35:25	というようなご指摘があった部分を、書き下したつもりでおりまして、今 回、
0:35:33	物証をもってご説明できたのは、
0:35:37	泥層の
0:35:39	部分と、笠名礫層のところで、トータルどう等、中央粒径で調べた結果 としてやはり、古谷泥層のところというのは非常に淘汰度が良くて、
0:35:50	一方で笠名礫層相当或いは笠名礫層の部分っていうのはトータルが悪い と、いうことでそれを物理的に何を意味しているかっていうと、やはり トータルが悪いってことは、ストレスオオノ流速があったんでしょう と。
0:36:06	いう状況でありトータルがいいってことは利息がなくて大体均等にたま ったという、いう事実がありましてで、それをもってすなわちじゃ堆積 環境違うけど、
0:36:17	堆積時代の違いを表しているのかというところの飛躍を埋める意味でこ の表現を変えていて、地形としては、
0:36:27	そんなに大きく変わっている場所ではない中でこれぐらい、トータルの 良し悪しが出るってことはそれは、堆積の環境の中でも時代が違ったん でしょうというふうに考えられると。
0:36:41	いうことを記載したつもりです。ちょっと表現がわかりにくいようであ ればもう少し部門で考えてみますが、お伝えしたいことは、そういうこ とです。要は、
0:36:52	平面的な違いのことなのか、時間軸の違いなのかどっちがこの堆積環境 って表してるかっていうと、この古谷泥層と笠名礫層相当層が並ん、同 じような、地域に並んでいてこれだけ違うっていうことは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:10	それはもう時間軸の違いでしょうということを伝えたいために記載しました。
0:37:19	はい田井です。背景とか、修文した背景とかは、とてもよくわかって、そういう背景もわかってるつもりなんですけど、例えば、
0:37:31	聞き方を変えると大きな地形的特徴があれば、
0:37:38	堆積時代の
0:37:42	違いではない。
0:37:43	うん。ていう
0:37:46	地形的特徴がの違いがないことが何、何なんだろうなってというのが、
0:37:52	ちょっと素直にこう入ってこなくて、
0:37:56	これはあれですかね、大きな地形的特徴っていうのが何か例えば、
0:38:03	何ですかね
0:38:05	後でこう来てるような堆積物の特徴。
0:38:09	があったり、そういうもの、何かあれば、地形的特徴にあらわれるだろうとか、
0:38:16	その辺のロジックが、
0:38:18	何かいまいちわかりにくくって聞いているんですけど。
0:38:26	地形的特徴がないから、
0:38:33	ないから、
0:38:36	同じような地形ということ。はい。はい、森本です。例えば数百メートルといえども間に大きい尾根があるとかですね木谷が、
0:38:47	あるとか、それと環境として、全く隔離されたような、
0:38:52	環境になる中で
0:38:58	粒子径が違うという話をしても
0:39:01	それはそうでしょっていう話になりますので、そういったことをお伝えしたかったんですけど少し
0:39:08	もう少しかみ砕くかもしかしたら、
0:39:12	ちょっと余計なフレーズなのかもしれない少しそのあたりはもんで、
0:39:18	適正化させていただきます。言いたいのは一つの
0:39:23	堆積場として、隔離されないのは同じような環境の中に、
0:39:29	あるということは美馬の地形の中からいえるので、そういったところで、
0:39:33	違う数字として出てくるのであれば、違う時代でしょっていうことをお伝えしたいので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:38	少しこの辺りは、
0:39:40	少し検討させていただきます。
0:40:13	荒谷です。もうモリモトさんの今の説明をもうちょっと僕も考えてみるようにしますが、何かやっぱり、
0:40:22	少しわかりにくいかなと思うんだ地形的な変化がない中で、
0:40:30	違う地質が分布しているから、
0:40:34	時代の違いを表し、なんかあんまりですねこの辺がスッと入ってこなくて、
0:40:42	ちょっと私も考えますけど言いたいことが伝わるような表現にしてもらった方がいいかもしれないですね、ここ。
0:40:48	はい。事実感覚関係というか考えてることは確認できました。
0:41:09	あとですね僕 20 ページで、今回追加してくれてて、
0:41:15	ちょっと何か、なんでこんな書き方になるのかなっていうのがよくわからなくて、
0:41:19	例えば、微化石のところは B F 4 地点っていうのは、動くまでに検出または検出されないっていう観察した事実があって、
0:41:29	比木 2 地点になってくると、貧化石体に当たるっていう
0:41:34	何か解釈になってたりして、
0:41:37	何かこう、
0:41:40	で、B F 1 もそうですよね、提出を除き、貧化石体に当たるって、これ。
0:41:50	観察事実じゃなくて甲斐解釈じゃないのかなって思うんですけど、なんでこの並び方になってるのかちょっと理由があるんだったら教えてください。
0:42:04	はい。中部電力森本ですご指摘ありがとうございます。谷さんおっしゃるように一次データとしては、寡夫化石がどれだけ出るんだという話があって、
0:42:14	文献等を踏まえまして貧化石体という解釈をしておりますので、少しその辺りは適正化をさせていただきます。
0:42:24	はい、井谷です。ですね観察事実で書くと、5分前に検出または検出されないところが比木 2 でも入ってくるってことでいいんですかね。
0:42:34	はい。おっしゃる通りですので、はい
0:42:38	失礼します。うん。おんなじように含まれるべきのところも、
0:42:43	何か、B F 4 は円礫引きには円礫

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:48	でBF1になると交換歴は含まれないっていう子なんか、着目点が一緒なのか、違うのかよくわかんなくて、円礫円礫硬岩歴を含まれないっていう、
0:43:01	かたいかやわらかいかの話に呼吸に変わってしまって、なんかですね対比っていう観点では、
0:43:08	わかりにくいかなと思って、
0:43:12	まずけどこれも何か理由あるんですかわざとこういう書き方にしてるっていうのは、
0:43:20	はい森本です。まず小硬岩液位があるかないかというところのちょっと気持ちが強くてすみませんそれが形がどうだというところに入ってしまいますがまずその
0:43:32	前段として入ってる歴が、
0:43:35	そもそも硬岩なのか何なのかというのがあった上でその下立入がどうなのかという考察。
0:43:44	夏なるかなと思いますので少しこの辺りも、その辺りステップですとか監査G図がわかるように、横並びで記載させていただきたいと思います。ありがとうございます。
0:43:59	はい、井谷ですこの辺はなん、ちょっと修正かかるってことですね。
0:44:03	わかりました。
0:44:04	あとはねちょっとよくわかんなかったのは21ページで、
0:44:08	窒息比較してるのが、敷地の湖沼性堆積物、括弧イベント堆積物を除くって書かれてるんですけど、
0:44:19	これって、
0:44:20	敷地のこの呼称性の体質で、
0:44:23	保障性堆積物だってもう決まったことだったんですけど。
0:44:28	これ。
0:44:29	そういう名前と呼んでたんですけどもその、
0:44:33	敷地に見られる。
0:44:36	基金敷地の近くに見られる泥層みたいなのは、
0:44:43	はい。中部電力の森本です。敷地の中の泥層に関しては津波堆積物の中でですねそれぞれの属性を、
0:44:52	もう少し細かく呼称性と呼んだり、
0:44:57	英語版礫州ルートと呼んだりということで、細かく分類をしておりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:03	今回し、敷地の中の泥層とB F オオノ泥層を比較。
0:45:08	するにあたって、これらをまとめて湖沼性堆積物と、
0:45:12	して、非カクウを、
0:45:16	行って、
0:45:17	おります。
0:45:18	そ、そのあたりをですね
0:45:23	これは170。
0:45:26	6 ページに、
0:45:32	ありますけど、今回B F Mの泥層とどういった泥層を比較するのかと。
0:45:37	いうことで、
0:45:39	後背湿地の堆積物、これは事例がないので、
0:45:43	もう
0:45:45	格納と比較するしかないわけですけども、
0:45:48	マルBとして、
0:45:51	狭隘のタニ地形や、小規模な交通に入ってくる。はい。ような泥層、これはいわゆる故障。
0:45:59	の中に見られる泥層ということで、敷地に認められる泥層を全般的に保障性堆積物呼んで比較していると。
0:46:07	いうものでございます。
0:46:13	はいタニです。あれですかもうこれが故障性堆積物だっという解釈というのは、もう津波堆積物の中でもしていて、それがいいか悪いかっていうのはちょっと置いといてですね。
0:46:26	それがこういう表現になってるっていうことかと。
0:46:29	はい。季小石ましたんで、
0:46:33	プラス、加えて聞くと、
0:46:36	量なんで括弧でイベント、
0:46:39	堆積物を除くっていう、このイベント堆積物を、
0:46:45	除いて比較するっていう考え方が何かあんまりわからないんですけども。
0:46:53	ここ、この泥層と比較するにあたって、湖沼性堆積物と比較しますそれ、その中からはイベント堆積物を除く。
0:47:02	イベント堆積物も比べる対象じゃないとしているのが、ちょっと何か
0:47:07	理屈がよくわからなくて、何かスッと入ってくるような説明があれば、
0:47:12	教えてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:18	折本です。先ほどの 176 ページに、
0:47:26	辺りにそのあたりは、
0:47:31	記載した、して、
0:47:34	たつもりでいるんですけどもまずあの、
0:47:38	んこ何々と何を比べる、カーなんですけれどもまず
0:47:43	T F - 泥層というのは、広域的に、
0:47:46	御前崎地域にどこにでもあるような泥層だという、
0:47:50	ところを、5 c の堆積物と 5 e の堆積物の対比でこの前段で示しております。
0:47:58	その上で、泥層っていうのはすごく狭い。
0:48:01	ちょっとした地形のところにもたまり得るじゃないかというのが
0:48:05	比べなさいという敷地の泥層と比べなさいと、このご指摘受けたところの本質かと思っております、
0:48:13	局所的なウロってどういったものがあるのかというのを考えてみると、先ほどご説明した丸栄と 3 ポツにしております。
0:48:21	浜堤の裏にたまるような泥層だとか、
0:48:25	都丸 B としてるのが、ちょっとした窪地にたまるような泥層でこれを交渉にたまったような泥層という、いうことで、
0:48:36	説明をという位置付けでこここれらと比べてやるということで比較をしています。
0:48:42	この浜堤の浦野泥層というのはなかなか敷地、それから御前崎で探し出すのが難しいので、
0:48:50	あるとすればこういったものだろうということで、C M S 分析の結果等から違いを説明しておりますけれども、このマル B の
0:48:59	この狭いところにたまった泥層というのが、敷地の中の鍵付の中にあるのが、
0:49:05	先ほどご説明した呼称性の泥層という、堆積物で調査している範囲、
0:49:11	認められる泥層になりますのでそれと比べてやったというものです。
0:49:15	イベント堆積物の違いはじゃあ何なんだっていうことですがけれども、
0:49:21	層相敷地の中で下流からずっと、
0:49:24	津波堆積物の遡上高を、
0:49:29	海からですね順番に追っていった時に、
0:49:32	そんな、今、B F 4 で確認するような評価 50 メートルぐらいのところまで連続する。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:38	んだらというのは確認できてませんので、まずそれはそれで、切り分けができていて、そうではなくて、シーズとあの狭い地形の中にたまった泥層と比べてやろうというのが、
0:49:50	今回やっていることでございます。
0:50:00	規制庁タニスあれですね、成り立ちとかも考えて、そういう呼称性堆積物とまず比較したんだっていうような、
0:50:10	何かそういう説明に聞こえたんですけど、
0:50:14	事実関係としては、はい。確認できました。はい。
0:50:43	規制庁タニ層相八幡やっぱちょっと、ちょっとその呼称性のところ私勘違いしてみるみたいで、
0:50:50	これあれですよ津波堆積物調査の中では、別に故障せいだって言って決めてるわけじゃないってことでいいんですかね。
0:51:00	紙資料上の話ですモリモトです紙資料といいますか我々の説明としてもですね、特に
0:51:07	ワードとしてすいません呼称性という言い方を使っている。
0:51:12	分類もあるにはあるんですけども、
0:51:15	ちょっとそれが敷地内で今ご説明してる故障生徒は、
0:51:20	マッチしてないといいますか。
0:51:23	ええ。
0:51:24	してないです。事実としてはですね、敷地、
0:51:27	今の資料の中でご説明してるのは、
0:51:30	津波堆積物調査の中で見ている。
0:51:35	常務回収の高いところにたまった泥を全部故障性堆積物として幅広に比較を、
0:51:42	行ってます。
0:51:44	津波堆積物の資料の中では、そのうちの一部をですね、呼称性、
0:51:49	保障性というキーワードで呼んでおりますので、
0:51:52	少しその辺りがちょっと紛らわしくなっておりますが、
0:51:59	特にそこの故障だからというところで意味を持たせているわけではなくてですね。
0:52:04	敷地に見られる狭隘な地形にたまった泥層ということで、呼称性の泥層という、整理をしているだけです。
0:52:12	比べる対象としては幅広に、
0:52:14	敷地に見られるだろう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:17	比較対象としております。
0:52:23	はい規制庁タニです。はい。
0:52:27	あんまりだから故障せっていうことに意味ないっていうことなんです か何か故障性って書いてしまうとそれが、評価の過程で妥当な判断して いるのかとかその辺ちょっと気になってしまうところがあって、
0:52:38	これは、
0:52:41	こういう泥層、それは旧中国で、中部電力としては、故障性堆積物だと 今のところ考えてて、それは別に、
0:52:51	交渉性じゃないかもしれないけどそれは評価として、影響するようなも んじゃないってことですかねその成因が何であれ、比較、
0:53:00	すすする。
0:53:02	比較して否定するような、対象であれば、成因と問わずっていうことだ と思いましたので、その辺がだから、
0:53:13	敷地にあるレース堆積物の中で、故障せ堆積物という一部のところを言 ってるようなことにも勘違いされないような、何か、
0:53:24	ちょっと注意書きでもしておいてもらった方がいいかなというふうに、 私は感じましたけど、説明したいことはわかりました。
0:53:35	はい。森本です。ありがとうございます。ちょっと堆積物の関連もです ねわかりづらいところもございますので我々として、
0:53:44	伝えたいのは、敷地の、
0:53:48	標高的に陸でたまったようなところにある。
0:53:51	泥層。
0:53:52	それはあの狭い道の中にたまっていると。
0:53:55	それと比べましたということですので、少しワードの、
0:54:00	選び方は工夫させていただきます。ありがとうございます。
0:54:20	規制庁のカイダです。私の方も少し確認させてください。20、
0:54:27	21の2ページ。
0:54:31	例えば、21-2ページで、
0:54:34	ちょっと今回あまりこう、
0:54:39	話題というか、比木2っていうところが中心に説明されてるんで、それ とはちょっと別になるんですけど、BF1地点のところの、
0:54:48	この歴史分析で礫形状分析は、
0:54:52	どういうふうになってこれすでに前回、前々回のヒアリングで、
0:55:00	確認して、採取してた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:04	うん。ところが別の地層になったということでバーになってる。そこはわかるんですけども、
0:55:11	ここももとの経緯でいうと、最初はこのBF1地点の歴って、何十個かぐらいのデータで、
0:55:22	歴史とか履歴系か何かの分析されてきていて、
0:55:27	それだとちょっと少ないというような、こちらからの指摘もあったようにあって、
0:55:33	そのBF1の1じゃなくて、
0:55:37	近くの露頭でたくさん追加して取って、
0:55:41	それをもって200何十個ぐらいまで増えて、
0:55:45	前回会合ぐらいまでの議論、
0:55:48	資料に出た歴史とか歴系の分析、
0:55:52	礫州ですかね。
0:55:55	200何十個っていうのにとって、
0:55:57	示してあったと思うんですよね。
0:56:00	そうするとBF1の1っていうのが
0:56:03	違う値となったっていうのは、そこは除いたとしても、露頭で撮った歴っていうのは、
0:56:09	あるんじゃないかなっていうのと、
0:56:12	あと
0:56:13	仲井家前のヒアリングで、
0:56:15	その辺りもう硬岩できないんですかっていうのでないっていうような
0:56:20	お話だったんですけど露頭っていうのは
0:56:24	結局どうなったのかなと、今露頭がもうないのか。
0:56:28	その辺ちょっとこのBF1の1の歴に関するところがバーになってるところについて、
0:56:34	ちょっと事実関係を確認したいんですけど、よろしいですか。
0:56:41	はい。森元です。BF1地点の位置関係といたしますか、
0:56:50	調査地点の位置関係が129ページに、
0:56:55	ございますので、
0:56:58	こちらをお願いします。
0:57:02	従来
0:57:03	BF1地点に硬岩液位が入ってます入ってますというふうな説明をしておりましたのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:10	右下の図に、少し名前出てますBF1の1項というボーリン来
0:57:16	ございます。
0:57:18	一方で
0:57:19	右上、W37項というところでは、硬岩歴というのは確認されておりませんでした。さっきカイダさんがおっしゃいました、れきの形状の、
0:57:32	について追加分析をした露頭、
0:57:36	露頭と言ってもですね
0:57:38	ちょっと地面をツボリして、そこから採取したものになるんですけどそれがまさにBF1の1項の、
0:57:45	すぐ秋のところで、
0:57:48	採取をしておりますて、同じような層準を見ていたという結果してですね。
0:57:55	PF1-1で違う地層だといったところと同じような層準をピットで当てて、分析をしていたというものでございますので、
0:58:03	そのデータも含めて、違う地層を見ていたというのが
0:58:09	今回わかったことでございます。
0:58:13	規制庁の甲斐ですがわかりました
0:58:16	今までの話だとBF1の1が違ってましたっていうところだったけど露頭も実はほぼ同じところを取ってたんで、
0:58:25	露頭のデータっていうのも合わせて使えなくなったっていうところは今お聞きして、
0:58:32	承知しましたわかりました。
0:58:35	それとあと、
0:58:37	一つ20、
0:58:43	23ページ。
0:58:44	から、23ページを、
0:58:55	すいませんちょっと違った
0:59:01	何、すいません、全然違う75ページをお願いします。
0:59:10	75ページの説明で今回いろいろ
0:59:14	追加していただいて、何で
0:59:19	下からそうかっていうところの比較対象かっていうところだったと思うんですが、
0:59:25	構成粒子の大きさが相良層が一番マッチしてるんでっていうところで
0:59:31	そういった対比してるということは書いてあるんでわかったんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:39	例えば、
0:59:40	一方で
0:59:45	笠名層んでも、
0:59:48	どこだったかな。
0:59:51	103 ページとか S T 時地点とか見ますと、
0:59:58	これ結構上の方はさ質シルト歴も含まないような、左室シルトだったりとかその下は
1:00:06	れきを含む基質支持の、
1:00:09	左室シルト、
1:00:11	というようなことで、
1:00:14	歳出ではあるんですけど、
1:00:18	笠名層っていうのは講師シルトもいっぱい入ってる場所があるんですが、
1:00:24	このあたり 75 ページの記載とのちょっと、
1:00:28	関係、今一例で笠名層の、
1:00:32	にもこんなところあるなっていうところなんですけど、他のをここに書いてある地層も、
1:00:38	この細粒物質みたいなのはやっぱりないっていうようなところっていうのは、
1:00:48	その辺の根拠っていうか、
1:00:51	そういったのはあるんでしょうか。
1:00:55	この中部電力の森本です。
1:00:57	75 ページの真ん中の箱書き。
1:01:04	3 ぼつ名ですね笠名礫層。
1:01:09	というところに真子名の 2 番振っておりますけれども、
1:01:15	そこがまさに今、カイダさんおっしゃったところでして、
1:01:18	重ね木曾一部、木曾が首藤氏の層準というのがおっしゃるようによざいますけれどもこちらについてはですね今回、
1:01:26	笠名礫層、
1:01:28	と B F 4 地点の泥層との定量的な比較を、
1:01:33	してやろうということで、
1:01:35	粒径だとか、到達度の観点で定量的に比較を行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:41	言葉でですねすすなので泥層なのでっていうところで切り分けるだけではなくて、今おっしゃった、左室シルトという上場の記事があるところについても、
1:01:54	比較を、
1:01:56	ちゃんと分析から比較をしております、結果が 148 ページ。
1:02:01	2、ございますが、
1:02:11	グラフの上のグラフがすべてのデータになりますけれども、横軸が粒径で、縦軸がトータル、
1:02:20	いう分類でもございます。
1:02:23	粒の大きさそれからそろい具合という観点で見てやると、
1:02:29	青で示しております。古谷泥層それから B F 1 の泥層と、
1:02:34	黄色で示している、P F M 周りの笠名礫層相当層とのマトリックス数の構成粒子が、
1:02:41	違うということが言えますので、
1:02:44	こういったものが二次堆積で入ってきてると当然、同じものからできるということは
1:02:52	できる、同じようなマトリックスから構成されることになりますけれども、そういった数字はえられてないので、そういったものを選択肢から外しているというものでございます。
1:03:05	はい。規制庁のカイダですがわかりました 247 ページの、
1:03:10	グラフの本みたいなのをもとに評価されてると、その辺説明。
1:03:15	ありがとうございました。
1:03:17	147 と 148140748 です。わかりました。
1:03:22	ちょうど 147 が出てきたので、ちょっと細かい話かもしれないんですけど、確認したいんですが、
1:03:30	先ほどちょうど 103 ページで、
1:03:35	私が確認したユニット 4 っていう、
1:03:40	のは、
1:03:41	その 147 ページのグラフと比較すると、一番上の、
1:03:46	ユニット 4。
1:03:48	このオレンジ色で書いてある。
1:03:50	4、
1:03:53	一番左側 40% ぐらいからスタートしてグーッと立ち上がっていく。
1:03:59	これっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:01	この 147 ページに、
1:04:05	S T 地点の黄色い
1:04:08	線が、
1:04:11	ちょっと黄色なんで見にくいんですが要は 103 ページは 4 本あって、 147 ページは黄色が 3 本で、
1:04:20	ユニットに相当するようなやつがちょっと、
1:04:23	見当たらなかったの、確認さしてくださいこれひよっとしたら重なっ ててしかも黄色なんでわかりづらいかもしれないのでちょっとそこを教 えてください。
1:04:39	モリモトです。そうですねちょっとかさあてるかもしれないのですい ませんこちらの手元の資料で今、
1:04:49	すぐにパッと確認ができませんので、少しそちらについて
1:04:55	確認させて、
1:04:58	ください適切に反映し、されていることをもう一度確認しておきます。
1:05:05	規制庁の甲斐ですがわかりました他のじゃアマン。そこまた確認の 方、よろしくお願いします。
1:05:15	はい。ご指摘ありがとうございます。
1:05:27	規制庁ニシキです。今のところちょっと、
1:05:30	追いきれてなかったと。
1:05:33	確認したいんですけども、ここの岸 140748 のところで、真木石津とさ れているんですけども、これ岸通と、
1:05:44	あとは、何て言いますかね。
1:05:46	これ気質の液位の境界といいますかそれってど、
1:05:49	堂々分けたんですかっていうところをちょっと確認、要は累積曲線で書 く時って、そのれきの入り具合だとか何とかで変わってきますよねその 辺りちょっとどうされているのかちょっと。
1:06:02	その分析ってこの分けてる状況についてちょっと確認したいんですけど も。
1:06:07	はい森本です。147 ページの 1 ポツ目の、
1:06:11	2 行目真ん中あたりから括弧書きで書いているんですけども、
1:06:16	実数を特徴窒素の特徴を定量的に見ようということで、
1:06:21	このグラフに関しては、ミリの古井様は砂よりも細かい粒子を対象に比 べております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:29	そもそもがですね、泥層 B a s i s 堆積物と礫州堆積物ということで、構成している粒子が 00 木藤泥層で全然違うんですけれども、
1:06:40	そういった中で、
1:06:43	見てるところはどっか違う地層だというためにそもそもが全然違うんですけど、
1:06:51	地質同士を、
1:06:54	んだったら似ている可能性もなくはないということで、比べてやってるというものでございますので、
1:07:00	まず 2mm というところで、
1:07:04	美里香技術として扱って比べていると。
1:07:06	いうものでございます。
1:07:08	規制庁ニシキですということは砂砂サイズ 2mm 以下のもので、蔵別個しましょうっていうことをやる、やられているということがここに書かれていて、
1:07:21	それって、でもミリ以上のものも、
1:07:26	重量とし、
1:07:27	繋いかのけさをした 100 にしてるのか、これは、
1:07:32	いいのか。
1:07:33	わかりましたそっか。これより、例えば 147 の、
1:07:38	上の左のグラフですとこの図等通過質量百分率ということは、
1:07:44	これより細かいものがたくさんありますよ、だから 40% ぐらいは細かいのがありますよということを指しているという理解ですね。
1:07:53	B O C ってことですね。わかりました。
1:07:56	ありがとうございます。
1:07:58	はい。その通りです。
1:08:26	規制庁の大井ですけど、ちょっと確認させてください。衛藤。
1:08:33	今回
1:08:39	100、
1:08:41	155 ページじゃないか。
1:08:45	5 ページで、
1:08:46	155 ページで加えていただいて、
1:08:50	これ新規でしたよね。
1:08:52	それで
1:08:54	花粉分析結果に着目っていうところでして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:58	ちょっと
1:09:02	ですね。
1:09:06	次の 100、157 ページかな。
1:09:11	貧化石体の中で、
1:09:15	そのどこを、BF4 地点とどこを結局層準を、
1:09:20	対比してるのかっていうのを、が、
1:09:23	一番下部の層ということの、貧化石体のうちの花粉の
1:09:29	でないところということを、
1:09:33	という説明をずっと前からされてたと思う、思うんですが、
1:09:38	ここってちょっと、追いついてないからかもしれませんけど皆さんわかってるかもしれませんが、
1:09:43	何か比木 2 を見ると、
1:09:46	ずっとここって
1:09:50	最細れきとか、
1:09:51	履歴とか、そういう層準でここだから、
1:09:55	齊藤署は笹井日置とかだから、
1:09:57	花粉って出ないのかなっていうふうに、
1:10:00	見てたんですけど。
1:10:01	これって花粉はもちろんその内のシルトからとってるという、
1:10:07	ことなんですかね、ちょっとごめんなさい。
1:10:10	ここの 11A の 1 体っていうのは、
1:10:15	の花粉が出ないっていう。
1:10:18	ええ。
1:10:19	結果っていうのは、
1:10:21	どういうデータに基づいてでしたっけ、ちょっとすいません。
1:10:24	初歩的、
1:10:27	一時的なデータのことになりますが、ちょっと
1:10:30	確認させてください。
1:10:35	はい。中部電力の森本です。引地の調査結果を、120。
1:10:43	どうでしょうか。118 ページ。
1:10:48	お願いできますか。
1:10:50	日比地点の露頭の状況を 118 ページそれから 119 ページで、
1:10:59	ご説明しております。柱状ズー露頭で確認した内容を柱状図でまとめて議事として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:09	ご説明しております。
1:11:11	こちらの層準がですね先ほど衛藤さんおっしゃった一番下の歴史歴史相当の模式柱状図ではしている層準にはなるんですけども、
1:11:21	細かく見てやるとですね、マトリックスが提出であったり、
1:11:28	ユニットとしてさ質シルトが主体のユニットがあったりということで、
1:11:33	結構あの道路の成分が多いと。
1:11:35	119 ページ、少し
1:11:38	もう少しだけ上の層準、ほとんど層状でも変わらないんですけども、
1:11:44	いきますと、
1:11:44	d す。
1:11:46	普通堆積物といえるような、歳出シルト主体の
1:11:50	層準。
1:11:52	が出て参ります。当然礫層のところから試料採取しても、
1:11:57	化石だとか花粉でないじゃないかというのはそれはおっしゃる通りですが、
1:12:01	資料最終の箇所が 123 ページ。
1:12:05	示しております、
1:12:08	まずしっかり出そうなところ、提出主体のところから、試料を採取して
1:12:15	分析を、
1:12:15	しておりますその結果花粉も出ないで有効中より珪藻も出ないと。
1:12:20	いうことを確認しておりますんで、
1:12:23	まず、間を埋めるようにですね礫層のところからも、補足的に補完的に
1:12:34	やっておりますけども当然そっからもう花粉というのはほとんど出ない
1:12:43	ってのは確認できておりますので、
1:12:34	1 がいいですね層相から連絡で当然じゃないかっていうようなところは、
1:12:43	しっかり提出堆積物のところからでないことを確認してると。
1:12:43	いうもので、
1:12:44	ございます。
1:12:47	もう少し細かいをですね 125 ページに、どういったところから花粉、
1:12:55	ダイアグラムを作っているのかという資料もございますので、またそちらの方ご覧いただければなと思います。
1:13:04	はい。すいませんちょっとヒアリング全部に参加してなかったかもしれないので、すいません。ちょっと、こういうところはすでに説明済みだったかもしれませんが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:12	私は理解でき、すいません理解できました。ありがとうございます。もう1点、これもちょっと、
1:13:20	皆さんがわかってることかもしれませんが、158ページのところで、
1:13:26	このCN-S分析の、
1:13:31	淡水性を示すという、監査、158ページの一番下の
1:13:37	方。
1:13:39	どっかBF4だ、すべてにおいてし今回CN-S分析とかされてて、
1:13:45	淡水性のそっす相当する値を示すって書かれてますが、
1:13:51	その横に何回よう、
1:13:56	濃度、
1:13:57	によって保存されるっていうことについてちょっと、すいません。
1:14:01	僕理解が追いついてないのでもう一度教えていただけないでしょうか。
1:14:11	問題点としては、ポイントとしては
1:14:15	結局この、
1:14:21	CS費が高いということは、
1:14:28	黄鉄鉱が上の箱書きですね、CN-S分析から見た●で書かれている。
1:14:34	ホールだけ埋積層の特徴っていうところで、
1:14:37	CS費が反水性となった要因としては、
1:14:44	抵抗が形成されにくい環境があった環境にあった可能性がある考えられるっていうところについて、
1:14:50	ちょっとコアなんかよく理解ができないんですが、
1:14:55	ちょっとその辺を、
1:14:58	ちょっと説明いただけるでしょうか。
1:15:02	笹木です。
1:15:05	黄鉄鉱と、今の
1:15:09	A、C、
1:15:11	S費との関係なんですけどもここでは、今、
1:15:16	おぼれ谷堆積層って考えられるので押す、おそらくその
1:15:22	海水はいっぱい、
1:15:24	流入してるんですね、その海成の中には硫黄が入ってます。
1:15:29	ただし、その硫黄があその後、堆積物として、そこに泥層が残存していく過程で、
1:15:39	その硫黄がそこに保持されるには、黄鉄鉱という比較的安定な鉱物になっていないと駄目なんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:48	ところがここで今、
1:15:52	事実として、硫黄がものすごく、
1:15:56	ここでは検出限界に近いぐらい少ない。
1:16:00	ということは、海水が流入であった。
1:16:03	はずなんだけども黄鉄鉱ができなかった。
1:16:06	そのため、もともと海成にあっ対応というのはみんなその後堆積物との 中に、
1:16:13	保存されることなく、みんな流れていってしまったというふうに考える ことができます。
1:16:20	そういったことが炭素の少なさというところにもあらわれていて、
1:16:26	結果として、
1:16:28	その海水
1:16:30	もともと硫黄が入っていたであろう海成が流入していながら、黄鉄鉱が できていなかったために、T S トータルサルファー、前、
1:16:41	医療自体ガス、非常に少ない。
1:16:45	で、その非常に少ない。
1:16:48	検出限界であることから、C S 費が海水を示していない。
1:16:53	という原因だったのではないかという考察をしています。
1:16:59	はいありがとうございます。ちょっとまたこれも素人質問かもしれませんが んけど、
1:17:05	このところと貧化石体って言うてる層状は一緒なんですよ。
1:17:09	それで貧化石体っていうのは、いわゆる、
1:17:13	その還元的な云々かんぬんっていうところ。
1:17:17	と、
1:17:19	一緒なんですたっけ。
1:17:21	要するに黄鉄鉱が出そうな歓迎的になっていう。
1:17:25	ものとは関係がない。
1:17:26	てことですか。
1:17:30	金加瀬北井、能登昨日
1:17:35	還元状態っていうのは
1:17:40	結局、光が届かなかった。
1:17:44	光が届かなかったので、植物プランクトン等の河成が少ないために、
1:17:52	還元状態という意味であって、それがだから結局、そういった、
1:17:59	植物プランクトンとか動物プランクトン、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:02	が、
1:18:03	豊富であれば、
1:18:07	陸から来た有機物を分解して、それを基にしてオーテックを持ってきたはずなんですけどだから黄鉄鉱もできなかったと。
1:18:16	ある意味、ある意味っていうかこのデータってのはだから総合的な結果と、
1:18:22	いうふうに言えます。
1:18:24	それは文献でもそういうふうなところまで突っ込んでるような、
1:18:29	フォルダーに移籍部、堆積面積層の特徴であるんでしょうか。
1:18:36	小堀なり井関層で直接的なそういう言及したのってのは数少ないんですが、一般的な、
1:18:42	話として、
1:18:50	今の
1:18:53	T S が不すごく少ないっていうことと、
1:18:57	その貧化石体、
1:19:02	というものが、
1:19:05	これら別々に研究されているので、その直接的なこの二つを結びつけてやったものはないんですが、どうぞ。
1:19:14	金加瀬北井の文献を読む、4、
1:19:18	読んだりこういったそのC N - S 分析の文献を見たりすると、こういった堆積速度に、
1:19:25	原油を持つ品化石堆積速度に原因を持つ。
1:19:31	P S の、
1:19:33	頻T S。
1:19:35	というものがあるので、そこを結びつけて、今回考察したっていうのがこの150。
1:19:41	8 ページの内容になってます。
1:19:45	はい、お考えはわかりました。
1:19:53	もう1点だけ、
1:19:56	これは、
1:19:57	ちょっと、
1:20:00	すいません。大丈夫です。
1:20:05	そうですね私からちょっと以上ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:21	規制庁の野田です。先ほど谷さんが加来にちょっと 20 ページの表で、2 点確認させてもらいたいんですけど、
1:20:31	まず表の一番右に、今回参考ということで文献における、
1:20:36	古谷泥層の記述っていうのを過去の資料から追加してもらっていてですねこの参考っていうのがちょっとよくわからなくて、主たる根拠のところは緑色でハッチングされているんで、そういう表示になってるんですけど、
1:20:50	この参考っていうのはどういうことが根拠として使われていないっていう意味ですか、ちょっと確認させてください。
1:21:11	はいすいません中部電力の森本です。一番右の列の参考このページとあと 18 ページの笠名礫層。
1:21:21	のところにも記載しておりますがすいません当然文献でも言われていることと整合的なことを比木 2 B F 1 で確認して、それと、
1:21:33	それを主たる根拠として対比を行ってますので、すいませんちょっとこの 3 行は外させて
1:21:38	いただきます。失礼しました。
1:21:43	はい、わかりました。そうすると、外すということはわかったんですけど、
1:21:51	どこだったっけな。
1:21:54	174 ページ。
1:21:58	ここは多分まとめになっていて、
1:22:02	まとめん中では例えば今の、泥層とそのフレアです。ごめんさいて宗と古谷泥層兜の対比のところ、
1:22:11	例えば丸運 172 ページの②の配布に古谷泥層の調査っていうところで、
1:22:19	ここには、調査結果、
1:22:22	については、地質調査結果については書かれてるんですけど文献調査については、御社はまとめに、
1:22:30	先ほどのところは使われていないっていうことなんすけど、ちょっともうこの辺の参考とか、まとめに記載があったりなかったり、ちょっと整合性がとれなくていずれにしても、この文献調査の
1:22:43	位置付けがよくわからないんで事実確認したいんですけど。
1:22:50	はい。中部電力の井本ですまとめのところ文献というのは書いておりませんが、まず、古谷泥層はどういった地層かというところを、文献でしっかり調査した上で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:01	そうである、こういった文献で言われていることが、正しいのであればこういった、
1:23:07	調査手法が、
1:23:09	適切なのではないかとということで、調査手法を選んで、その結果をまとめ、
1:23:18	のところに記載しておりますので、ちょっとその辺の流れが、すみません、見抜けておりますけれども、
1:23:26	まず前提としては、文献調査もしっかり行って、その情報を元に調査手法を選んでいると。
1:23:33	いうものでございます。
1:23:39	はい。少なくとも既存の資料では、そういった古谷泥層の、
1:23:45	調査における文献調査の位置付けがよくわかんないということがわかりました。
1:23:52	あと、
1:23:54	同じく 20 ページ目のところで、B F 1 地点の位置付けもちょっとこれよくわからなくてですね、よくわからないっていうのは、御社としては、この 20 ページのところで、一応緑の網掛けがしてあるので主たる根拠として使われているんだと思うんですけど。
1:24:12	例えば、15 ページ。
1:24:21	ここに年代評価の流れということで、左下のところに、古谷泥層株の主な調査結果っていうところでは、比木 2 地点しか出てきていないんですよ。従って、
1:24:35	例えば今、2 点ですけどこういうところでちょっと資料の整合性が図られていないんで、この B F 1 地点というのが、泥層と古谷泥層株の、
1:24:46	対比比較結果として、本社がどのように位置付けられているかがわからないんでもう一度ご説明いただけますか。
1:25:01	はい 15、中部電力の森本です 15 ページの記載内容ですけれども、古谷泥層下部の主な調査地点ということで比木地点の調査結果を代表的に、
1:25:12	示させていただきました。当然 B F 1 生の調査も踏まえてですね、この評価自体は行っておりますけれども、今回模式地といいますか、しっかり年代がわかっている A 地点ということで比木 2 地点を、
1:25:27	代表として、このフロー上は記載させていただきました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:31	ちょっとすべて、BF1も含めてというところは、
1:25:36	検討はしたんですけれども、見やすさわかりやすさの観点から比木2で代表させて、フローとしては記載しているというものでございます。
1:25:50	ご説明ありがとうございました。ちょっともう1点。そうすると、代表というのと、代表じゃないものの違いって何ですか。
1:26:01	はい。中部電力の森本です。すいません少し言葉足らずなところがございましたけれども、
1:26:07	フローを示す上で
1:26:11	秘密点を古谷泥層んというのはこういった特徴を示すものですというので、15ページに関しては、お示ししておりますが、こちらの中身としてはですね
1:26:23	喫煙それから、BF1地点を同じ古谷泥層として対比を行っているというものでございます。
1:26:33	ご説明ありがとうございました。フロー上は、代表遅延ということで比木2地点を記載しているんですけど、御社としては20ページにある通り、比木2、
1:26:44	主たる根拠としては比木2地点だけではなくて、BF1地点を使われているということで私は理解したんで、もし、その理解に間違いがあれば指摘してもらえればと思うんですけど。
1:26:56	そうすると、追加で174ページ、またまとめのところなんですけど、
1:27:06	この一番最後青いやじ矢印で、以上のことから、定数は古谷泥層株に対しされると評価したって書かれているんですけど、ここは、ここで言うその古谷泥層株というのは、
1:27:20	具体的には、地点名を入れるとなると、比木2地点及びBF1地点になるっていう、そういう理解で正しいですか。
1:27:32	はい中部電力の折本です。まず先ほどマトリックスの方でおっしゃっていただいた、比木2とB不一致を同列でというところはみなさんおっしゃる通りでございます。
1:27:43	それから174ページのところについても以上のことから、のところこの、
1:27:49	古谷泥層株だというところは
1:27:52	こちらについても野田さんおっしゃる通りでして、均一点それからBF1地点両地点の、
1:27:58	古谷泥層株に対するという評価をしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:03	ありがとうございます。ご説明ありがとうございますと私ははい。今のやりとりで、
1:28:09	本社が低層と古谷泥層株の比較をする際に、比較比木2地点とBF1地点をどういう位置付けで、評価に用いられているかというところがわかったんですけど、
1:28:23	先ほど
1:28:25	森本さんからご説明、
1:28:27	があれば、わかるんですがちょっと資料上その辺の記載の整合性が図られていないということが、確認できました。私から以上です。
1:28:50	規制庁谷ですけど、さっき118ページの、
1:28:54	話があったんですけど、
1:28:56	これって前からちょっと気になってたんすけどね、そういう細かい話です。
1:29:02	これ何か写真を見ると、写真を見る限りですねあんまりこの何て言うんすかのスケッチに書いてあるようなこうシルト層がどこだとかいうのが、
1:29:12	すごくわかりにくいんですよ何か全体的に何か益がまじっているような歴史つど2行、写真を見る限りは見えてしまっていて、
1:29:21	これなんか、
1:29:23	ちゃんと現地に行ったら、
1:29:25	柱状図書いてますけどこの柱状図のこの地層区分というのは、はっきりしたものとして見えるんですかそれとも何か。
1:29:36	結構漸移的で、
1:29:41	はっきりとした協会みたいなのは、
1:29:43	見れないような露頭なんですかその辺ちょっと教えてください。
1:29:51	はい。中部電力の森本です。すいません。全体写真が少し見づらくなって申し訳ございませんが
1:29:58	ユニットごとの業界というのはですね、現地ご覧いただければ、
1:30:03	ここに境界線があるだろうというところは、
1:30:06	議論させてもらおうと思いますし、それから資料としてですね少し
1:30:13	拡大写真つけるなどですね工夫はさせていただきたいと思います。
1:30:21	はいたんですわかりましたこれあれなんですかね例えばこれはもう浄化線っていうんだったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:27	何ていうんすかね利益が下のシルトを削り込んでるような構造があるとか、そういうはっきりとした地質構造の観点から、
1:30:39	何、水つきでチャンネルでとか、そういう話ができるような露頭ではないんですか。
1:30:49	はい。森本です。
1:30:52	この露頭としてですねそういった構造が見えるかという見えません。
1:30:58	露頭としても、非常に、
1:31:00	エリアとして限られておりますので、
1:31:04	剥ぎ取ってる範囲ではそこまで確認できていないというものでございます。
1:31:09	まず古谷泥層の致死川からたまり始めて、内湾を埋めたという事実と、それから駅の形状、各力のものから、演劇主体に変わっていったらいいと。
1:31:22	いうところを踏まえて、下部のところは、文字を下線層に該当するのではないかという評価を今行っているというものでございます。
1:31:35	井谷です。はい、事実関係確認できました。
1:31:55	規制庁のカイダですか。です私も確認をさせていただきます。123 ページをお願いします。
1:32:03	この 123 ページのちょっと読み方なんですけれどもちょっとこれ言葉の使い方の話なのか、それとも中身の話なのか確認です。
1:32:16	最後の矢、矢印のところは、
1:32:20	比木 2 地点の古谷泥層株は、花粉が日、ごく微量にしか検出されず、高志水芝他の。
1:32:28	小堀座間遺跡存在成績の通り品化石に当たることを確認したってということなんですけれども、
1:32:37	ここの意味するところは、
1:32:43	高志水とか千葉論文でも、何か花粉がごく微量だとか、
1:32:50	いうところをもって、
1:32:52	貧化石体んっていうようなことが書いてあったのかっていうところ。
1:32:58	なんですけども、
1:33:00	ちょっと資料見る限りはこの
1:33:03	子、これらの論文は花粉にあまり言及してるようなところは見当たらず、
1:33:08	他の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:10	化石の話とかはあるんですけども、
1:33:13	これはどう、どういう、あれなんすか。なんか、花粉にも言及してやっぱり、
1:33:20	論文でもここは花粉も少ない、金加瀬北井なんだっていうところが書いてあるっていうのがあればちょっと。
1:33:27	資料上、教えていただきたいんですけども。
1:33:32	はい。すいません中部電力の森本です。
1:33:36	冒頭 20 ページの方で、西さんでしたかねご指摘いただいた内容と同じでございまして、
1:33:43	すみません 123 ページに関しても、
1:33:47	まず我々の調査から花粉は、
1:33:51	ごく微量にしてくか出てこない、いうところと、
1:33:55	稼ぎ関係で微化石珪藻という中が、全く出てこない、この二つを確認していて、
1:34:03	微化石が全く出てこないというところも、
1:34:08	踏まえると、これらに井関層と
1:34:12	の指摘と一致しているという、この
1:34:15	大きくは花粉と微化石二つの話を言っております、
1:34:18	文献で言われていることは、微化石のみ、患者さんのおっしゃる通りでございまして少しそのあたり、適正化させていただきます。
1:34:27	ありがとうございます。
1:34:29	はい規制庁の甲斐です。わかりました。ちょっと、この書き方だと花粉が少ないっていうところもその論文との対比の根拠になってれば読めるのでちょっとそこは誤解を招かないような、
1:34:40	書きぶりをお願いします。多分その 20 ページの表、
1:34:46	と同じことかなと思ってます。
1:34:53	すいませんタニです。同じページ 123 ページで、
1:34:57	これ多分説明が前あったと思うんですけども、
1:35:02	この末し、花粉の数でまず C を、
1:35:06	除いた、
1:35:10	除いた数をここに入れましたっていう。
1:35:13	その背景でも、もう 1 回な、なんでしたっけこの沼津市を除いて、この
1:35:18	数をここに入れるっていう考えて、
1:35:22	教えてください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:27	はい。中部電力の森本です。もともとですね第、第1回目のヒアリングの際に、
1:35:36	このページ、右下137という、
1:35:40	すごく花粉が、の数としてですね
1:35:44	たくさん出てるような、層準が一つ。
1:35:47	ございますので、この層準に、
1:35:50	ついては、貧しいが多いのでこの層準のこの花粉の結果は、
1:35:56	現世種がまざり込んだものと。
1:36:01	いう説明をしておりましたが、
1:36:06	浜松市がまざり込んでる層準って、ほかにもあるじゃないかというご指摘をいただきまして、ご指摘としてはご最もでございましたので、
1:36:15	その末とCを除いた数字を、
1:36:19	併記するような形で、
1:36:23	私が出ている3層準は、
1:36:26	併記をしております。
1:36:29	説明に当たってなんですけれどもまずここで言いたいのは、まずだとか、Cがあろうがなかろうが、そもそも花粉、
1:36:36	出ている量として少ないと。
1:36:39	いうところがまず一つ言いたいことでしたので、
1:36:46	まずその下括弧の数字があろうがなかろうが、
1:36:52	トータルの花粉量としては少ないですということが言いたいのの一つと、そのうち、比較的多く出ている、137という、多い数字が出ているところに関しても、
1:37:03	大半が現世種主体のものでありますというところを説明しております。
1:37:08	ちょっと修正の過程でですねこの括弧、
1:37:12	数字というのは入れさせていただきました。そういった背景です。
1:37:18	井谷です。えっとね現世種の花粉があるから、
1:37:25	それはちょっと除いて判断しますっていう考えは、
1:37:29	なんでそれを素直に考えると、現世種が入ってる地層って、源泉の地層なんじゃないのかなとか、そういう発想にならずに、こういった解釈をし、した方がいいんだっていうような、
1:37:43	その辺の理由って何なんでしたっけ。
1:37:53	はい中部電力の森本です。まずこのエリアですね牧ノ原段丘堆積物が、
1:38:01	谷野上部で確認されていると、いうことと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:06	あとこの地層全体ですね、
1:38:10	例えば現世で崩れてきたような、緩みであったりだとか、
1:38:15	そういったものが認められないそれから、同じ露頭の中で、この上流側の露頭、
1:38:21	コアの柱状図のあたりにも記載が、
1:38:24	ありますけれども言えば平行寄りが認められているということで、海成層の特徴を示しているということを踏まえますと、後から土砂と崩れてきたような、花粉、あと現地の花粉を巻き込んで、
1:38:37	堆積したような地層とは違うと。
1:38:39	要は評価は当然前提としてはしております、その上で出てきている花粉が、
1:38:46	シードとか末そういった温暖種になりますので、2年生に近い地層でしか見られない。
1:38:53	花粉でございますので、
1:38:55	構成にコンタミストモードという評価をしております。
1:39:07	規制庁谷です。
1:39:10	なんかねその辺の考えが多分よくわかってなくて、
1:39:15	もうこれはだから中部電力の考えでは、層相だとかそういう場所だとか、そんなことを考えるともうこれは古谷泥層の、
1:39:24	内野農場河川に当たるんだっていうのが最初にありきで、花粉分析の
1:39:32	花粉分析だけを見ると、何か矛盾した結果なんだけどこういうふうには解釈すれば、説明できるんだっていうようなこの辺の順番がですね、私資料見ててよくわからなくて、
1:39:45	今のような質問になったんですけども、
1:39:47	その辺何かこうたどっていけるんですかねその中部電力の今の考えっていうのは、
1:39:55	はい中部電力の折本です。まず比率点のレイアウト。でしかその辺り144ページのところにございますが
1:40:06	牧ノ原段丘堆積物の堆積地点だというところが、追えないような形になっておりまして、
1:40:12	先ほど申し上げたような、層相だとか、
1:40:16	周辺の状況ですねそういったところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:21	確かに谷さんご指摘のように、抜けているかと思imasのでその辺りは少し前提条件として何がファクターのかというところを、補足させていただきます。
1:40:32	ありがとうございます。
1:40:35	はい規制庁タニですまたその辺見させてもらいますのではい。
1:40:39	わかりました。
1:41:19	規制庁佐口ですけど。
1:41:21	ちょっと細かいところも含めて少し幾つか確認をさせていただきます先ほどもちょっと確認あったんですけど、20 ページで、
1:41:31	これ文献でどう言われてるかっていうのは、以前の当然会合資料にはあって、何か、一時期というか最近なくなってまた復活したというようなものだと思うんですけど。
1:41:43	これって、
1:41:45	今だと、
1:41:46	ここに書かれているのって、
1:41:49	ほんのちょっとしかないと思うんですよね。
1:41:52	杉山とか、高清水。
1:41:56	市は、
1:41:57	これぐらい大きくはですね。
1:42:02	結局この三つとか2、
1:42:05	全部包含され、
1:42:06	それでいいんですけど、つまりですね。
1:42:09	古谷泥層って、多分ほかにもいろんな研究者だったり、
1:42:15	いろんな方がですね。
1:42:17	文献とか出されていて、
1:42:20	場合によっては、
1:42:22	ここに書かれていないようなこともあったりするのかもしれないんですけど、
1:42:27	今これ書かれてる。
1:42:29	この三つぐらいで、もう大体古谷泥層ってこういうもんだよってすべて言い切れるってそういうふうに、
1:42:36	考えといてよろしいですかね。
1:42:40	はい中部電力の森本です。ここの表に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:44	載せているのは佐口さん今おっしゃったような三つほどの文献でございますがおっしゃるように、フレアデス幾つか研究者、昔からですねたくさんいらっちゃって、
1:42:54	いろんな研究成果がございます。ただ
1:42:58	この大体この三つの論文ぐらいが、そういったいろんな過去からの研究成果をこうまとめてですね、体系的に整理した上で、追加の
1:43:08	検討をやっていると。
1:43:10	いうものでございます。杉山ほか 18 というのは除くですし、
1:43:16	芝さんの研究なんかも、化石、それから、堆積層から古谷泥層がどういったものかというのを結構体系的に挙げられている文献になりますので、
1:43:27	概ねこの三つぐらいを網羅しておけば、
1:43:31	当然そういった文献の中で引用とかはされておりますけれども、総合的な解釈だとか、研究結果が網羅されていると考えております。
1:43:45	はい。最後ですわかりました一応この三つで網羅をされているというところですね。
1:43:50	で、続いて 42 ページ目以降ですかね、これも私ちょっとよく、
1:43:57	わからなかったんですけど、
1:44:00	何か 42 ページとか 43 ページ見ちゃうとですね。
1:44:04	基本はそのブルーで塗色された 45 メーターより上、
1:44:10	ていうのが、
1:44:12	何か、
1:44:14	そんなにないのかなとも見えちゃうような気もするんですけども、ちなみに、
1:44:22	さっきですね、
1:44:23	ちょっと谷さんが、
1:44:25	ちらっと確認しましたがけど、
1:44:27	特にですね、
1:44:29	前回の会合か前々回か、3月の会合とかではその何ていうんすかね。
1:44:34	M I S 5 c と 5 e の高違いじゃないですけど静水環境とか、なんかそういうところに、
1:44:43	確か地質断面図って出されてたと思うんですよ。
1:44:47	その時に一番特徴的だったのは、
1:44:51	刀禰 B F 4 から T - 11 地点とかにかか、かけて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:57	地形って結構盛り上がってるんですけど、そこって全部フーフー精査だったと思うんですよ。
1:45:03	地質断面図長は、
1:45:05	今 43 ページ見ると、
1:45:08	何かそそういうのが一切なくて、
1:45:11	多分、
1:45:13	何かさっき仲田さんのご説明だと、いやこの辺とにかくいっぱい風説あるんで、
1:45:20	そういうところまで、
1:45:21	今ここは載せてませんみたいな話でしたけど、
1:45:26	いや、
1:45:28	もしこのBF4からTT-11って結構近いですよ。
1:45:32	この間で、何か地形的に盛り上がっててしかも不精査だったら、何かこう、
1:45:39	どっかに出てきていいのかなと思ったんですけど、いずれもちょっと目的が、
1:45:45	何か違うので今はここには、
1:45:48	そういうところまでは載せていないっていう、そういう理解でよろしいですか。
1:45:55	はい中部電力の折本ですそうですね。今佐口さんおっしゃったように、ちょっと我々今今回、
1:46:03	資料として、この辺りのルートマップ追加させていただきましたが、少し調査の観点としてですね、
1:46:11	泥層だとか第4紀層が、
1:46:14	をくまなく見たと。
1:46:16	そこの、
1:46:17	相良、ごめんなさい不正さとの関係はどうなのかというところに主眼を置いてないデータになりますので、まずちょっと手持ちの方で、
1:46:26	今ある調査で、データの事実ということで今回こういう形を示させていただきました。
1:46:34	はい。規制庁佐口です。
1:46:37	事実確認は事実関係はわかりましたんで、これ、前回でしたかね、前回のヒアリングで私がちょっと、
1:46:45	少し確認をさせていただいた関係もあって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:49	結局ですね、41 ページでいろいろありますけど
1:46:54	この泥層っていう観点で調査されてないんで今まで出てませんでしたっていうのがあるんですけど、
1:47:00	ちなみに今回って、この41 ページ。
1:47:04	だけを、
1:47:06	今の乗せて、
1:47:07	だと思うんですけど、これ以外ですね。
1:47:10	その敷地、
1:47:12	とか敷地の内外ですね含めて、
1:47:16	これ泥層って、
1:47:18	確認されていないでよろしいんですけど。今今ここの42 ページとか43 ページ載ってる以外では、
1:47:40	はい中部電力の折本です。今回41 ページの数値43 ページで、この場合に、
1:47:50	鍵学校の泥層というものが分布すると考えておりますという範囲を示させていただきましたが、その範囲の外では、同様の
1:48:01	堆積物は確認してないというのが事実でございます。
1:48:07	はい、規制庁サグチですわかりましたので文献とかではいろいろ言われてて、ここに文献でありますよって当然それ、御社、実際にそこに行つて、そのBF1 地点とかですね、
1:48:21	そういうところはやってますけど、御社が改めてというか、初めてっていう言い方がいいのかどうかわかんないですけど御社が独自に調査して見つけたっていうのは結局この、
1:48:33	43 ページの、この狭い範囲っていうところだけっていうことでよろしいですよっていう確認だったんですけど。
1:48:43	はい。中部電力浜野でございます。ご指摘の通り、上載層、
1:48:48	このH断層系の活動性が、十二、三万年前でちゃんと、それ以上、これより前に動いてない今後動かないっていうか、上載層の扱いという意味で、
1:49:03	発見しているのがこのBF4 地点だけになります。それ以外に、古谷泥層の分布がどうかっていう観点では、
1:49:15	少なくとも現在までには、そういう調査をしてきていないというのが事実です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:21	ただしこの図表を見ていただければ、当然、BF1の周辺にもいくつかそういう地点は、露頭もありますしこの辺りでも、
1:49:33	探索することは可能であろうというふうには考えています。
1:49:41	はい。佐口です。今ちょっと天野さんおっしゃった探査する可能ん。
1:49:47	ていうのは、
1:49:48	結局、今の調査ではそういうものは全くありませんっていう、
1:49:55	説明でいいですよ。いや、そうじゃなくて調査が十分じゃないんでいやもうちょっと探したら出てくるかもしれませんって、そうそういう意味でおっしゃったんですが、ちょっとそこだけ確認させてください。
1:50:08	はい。中部電力天野です上載層という観点ではここで十分確認できているというふうに調査をしていますが、
1:50:18	古谷泥層の分布っていうことに置くと、先ほど来申し上げたように不精査を剥いで、その下にニシキさんもさっきおっしゃってましたけどそれを、
1:50:28	ロガーしている相良層の上範囲で、泥層があるかどうかということまでは当然今まではやってないので、そういうことが必要だと言うならば、そのチャンスはある。
1:50:42	というのがこの図面で言いたいことです。
1:50:47	はい。規制庁昨日わかりましたそういうことっていうのはわかりました。本当に、
1:50:52	もう1回ちょっとくどいようですけど、
1:50:55	くどいようですけど、そういうことを別にするわけじゃなくて、今御社が手持ちのデータとしてもっている、例えばトレンチとかボーリングってあると思いますけれども、
1:51:07	ここも43ページだけに限らず、他にも当然ボーリングデータってあると思いますけれども、そういうところも含めて、全部こう、
1:51:18	少なくとも今まで御社が調査したデータからは、
1:51:23	ここの泥層に該当するようなものっていうのはこの範囲、
1:51:27	しかないっていうそういう理解で。
1:51:30	よろしいですかちょっと、しつこいようですけどそこだけ確認してください。させてください。
1:51:35	はい。チームで新倉間野でございます。従来からご説明させていただいておる通りで敷地内断層等で11から7まで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:45	同一性の話をさせていただいて上載層として、この9を見つけて相田の8も埋めたということで、土佐
1:51:53	泥層、この泥層っていうのはH9のところではしか見つけられていないのでそれより内側には当然発見していないというのが事実です。
1:52:04	はい、規制庁昨日わかりましたありがとうございます。
1:52:06	ごめんなさいあと細かいことなんですけどね、60ページって、
1:52:10	これごめんなさい、標高でいうとどれぐらいになるんですかね。
1:52:24	はいすいません中部電力森本ですすみません標高の場合が、すいませんこちらはございませんが、兵庫で言いますと、49メートル付近、
1:52:36	のスケッチでございます。
1:52:42	はい、佐口です。なんで、基本的にこれ、南トレンチの拡張部なんで、基本的にはこの
1:52:49	南トレンチとかそのまま連絡トレンチとか、これ、これと同じぐらいの標高っていうことでいいんですよね。いいんですよねっていうことと、
1:53:00	できればそれちょっとわかるようにしていただきたいんですけど。
1:53:07	はい中部電力の森本です。
1:53:10	裾野を取れたから、少し1度確認させていただきます。他のスケッチと同様に横に、
1:53:17	縮尺を入れる。はい。
1:53:20	入るところまで復元できるかどうかはございますが少なくとも、どの辺りのを見ているか、
1:53:27	相場感がわかるような、主、資料にはしたいと思います。
1:53:31	ご指摘ありがとうございます。
1:53:33	はい、佐口です。わかりましたお願いします。
1:53:37	あとですね、ごめんなさい。これ本当私だけわかんないだけかもしれないんですけど、結局、100、
1:53:44	110、10、10何ページだ、118ページ以降とかで、結局その引き2地点で、今回露頭露頭、
1:53:54	観察、これ新たに何か再観察とか別としてですね。
1:53:59	しましたということで、結局ですね、この118119とか含めて、
1:54:07	120もそうなんですけど、
1:54:10	どの部分に、このBF4の泥層っていうのは、
1:54:15	対応。
1:54:17	し得るものなのかっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:20	何かすごくですね、私が見てると、
1:54:24	非常に何かアバウトって言ったならあれなんですけど、
1:54:29	なんか下の方には何か対応されそうみたいな感じなんですけど、じゃあ実際にどこ、どの部分例えばその 119 ページでいうと、
1:54:41	これ、
1:54:42	スケッチで青色と茶色で塗色されてるんですけど、
1:54:47	これ全部の事を言ってるのか、上半分とか下半分とかいろいろあると思うんですけど、結局、どの部分のことを言っているのかっていうのと、
1:54:56	それと、本当に対比をするのであれば、それらに対して、
1:55:02	例えば、
1:55:05	歴の調査って、例えば 120 ページとかで、左下とか、右下にありますけど、
1:55:11	これって、今本当に、
1:55:14	P F 4 で言う泥層が対比されるようなところに相当するところなんでしょうかっていうのがちょっとよく、よくわからないんですけど。
1:55:24	そこもう 1 回ちょっと確認させてください。
1:55:29	はい中部電力の森本です。
1:55:31	118 ページ、それから 119 ページでございますけれども、
1:55:37	まず時代として、B F 4 地点と、
1:55:41	じゃあど、どういう関係にあるのかっていうのをまず花粉で、
1:55:45	見てます。
1:55:46	花粉で
1:55:49	この 118 ページの口とそれからそれにほぼ近い 119 ページの露頭っていうのは、
1:55:55	花粉層状と言いますと
1:55:58	一番下ですね花粉がほとんど出ない、層準にあるという時代関係としては、
1:56:05	時代で対比できる地層としては、118 も 119 も同じような、同じようなといますか対比層準としては、花粉層相層状。
1:56:16	58 万 119 も、分け隔てなく、
1:56:20	B F 4 地点に、
1:56:22	遠な時代にたまったものだという評価をしております。そういった中で、細かく層準を見てやるとですね、
1:56:29	いろいろな顔つきがございまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:33	演劇が主体となっている層準、それから、
1:56:37	B F 4 地点と同じような、
1:56:40	礫まじりシルト層から成る層準、119 ページの絵と青い部分になりますけれどもそういったものがあって、
1:56:47	環境としては同じような時代に同じような環境があったんだろうということで、
1:56:55	比較をしていますので、時代が泥層、どこが一緒なんですかという問いに対しては、
1:57:01	119 ページ 118 ページ、小原イマイ関層としてるところには、一つの
1:57:07	どのユニットにというピンポイントで対比されるわけではなくて、幅広く花粉の出にくい層準で、対比されるという評価をしております。
1:57:20	はい。規制庁佐口です。なので、いや、逆に言うと私もその辺がちょっとよくわからなかったもので、119 ページで上半分のことを言ってるのかなと思ったんですけどそうではなくてもうこれ、
1:57:32	ここ一帯全体として要はその花粉でいうところの、
1:57:36	なんでしたっけ、1-1A でしたっけ、何かそそういうところに該当するような部分、全体と、あと B F 1、
1:57:47	ごめんなさい、B F 1 と B F 4 っていうのが、それぞれ対比できるんでっていう。
1:57:53	そういうことですか。11A-1 とか耐火でこの H1 a-1 対比に 1 点ですね、花粉で言うっていうのは、もうこの 119 ページとか 120 ページで言うところ全体って、
1:58:08	考えていいです。
1:58:11	ていうところをちょっともう 1 回だけ再確認させてください。
1:58:16	はい中部電力の森本です。佐田さん今おっしゃった通りでして 118 と 119 ですねこの口と二つが花粉層状としては、
1:58:28	先ほど栄 11、
1:58:31	A の 1 体、
1:58:33	に当たりますので、時代としてはそこと同じでその中に、V F 4 と同じような形状の力が入っていたり、P F M と同じような、
1:58:46	シルト質のマトリクスの中に利益が浮いているのは層相を認められると。
1:58:51	いうものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:56	はい。規制庁佐口です何でちょっとこういうことを聞いたかっていうと、前回までは、比木2地点とBF4地点の層相が若干違うということで、
1:59:07	もうちょっとこう見てみたら、BF4と同じような、層相のところに該当するもんなもんがこの比木時点でも見つかりましたっていう。
1:59:17	御説明だったので、じゃあどの部分かっていうのをちょっとですね私も明確にしたかったですけど、そうすると154ページで言うところの、
1:59:26	これもだから、類似点と相違点と当然あるんですけど、
1:59:32	これって、
1:59:34	普通に見みたらですよ。すみませんね私素人なので、何か青っぽい部分だけ比べてどうかって見えるのかなとか思ったんですけど、これは茶色の。
1:59:45	塗色してある部分も含めて、全部で見てどうかってそういう見方を、
1:59:51	しなきゃいけないってそういうことってよろしいんですね。
1:59:57	はい森本ですおっしゃる通り、手数この
2:00:01	と一つのユニットで同じだと言ってるわけではなくて、その花粉単位として一緒だって一緒だと。
2:00:08	ておりますので、そういったもう少し広い範囲の、
2:00:11	吉井でございます。少しそのあたり、
2:00:14	な今回花粉軸にして、当時の特定してみたいな話を追加させていただきましたが、
2:00:22	まだ少し層相との関係がわかりにくい部分があったかと思っておりますので、
2:00:27	少し記載の方は補足したいと思います。
2:00:34	はい。規制庁サグチすみません何回も私がおめんなさいあんまり知識がないんでわからないだけかもしれないんですけどちょっとそこをわかりやすくできればしていただければと思いますので、私からは以上です。
2:01:40	規制庁のニシキです。
2:01:43	およそこちらから確認したかった点については確認できたと思います。
2:01:49	それで少し今日、確認させていただいた、いただいた中で、ちょっと手直しされたいところがあるかと思うんですけども、
2:02:00	それーに、
2:02:02	の対応ってどれぐらいでできそうですかね見込みの方ちょっと。
2:02:06	あればお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:10	はい。中部電力天野でございます。今日は特にご確認いただいたところで、我々の考え方が今ひとつ読みにくいところ中心だったと理解してますので1日、2日では直すつもりです。
2:02:28	あ、規制庁認識ですか。わかりました1日2日ぐらいの清掃というところではい。
2:02:34	そしたらまた資料の修正等ありましたら窓口の方までご連絡いただければと思いますので、よろしく願いいたします。
2:02:44	承知いたしました。
2:02:50	はい。それでは本日のヒアリングの方を終了したいと思いますが、中部電力の方から、最後何かありましたらお願いします。特にございませんか。
2:03:04	中部電力浜野でございます。
2:03:06	特にこちらからはございません。
2:03:10	はい、わかりました。規制庁ニシキです。それでは本日のヒアリングの方を終了いたします。どうもお疲れ様でした。
2:03:17	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。